

平成29年度 学校法人補陀学園 若竹幼稚園

【資金収支計算書】

科目	決算額
収入の部	
学生生徒等納付金収入	93,823,382
寄付金収入	859,155
補助金収入	405,731,196
資産売却収入	0
付随事業・収益事業収入	9,675,035
受取利息・配当金収入	503
雑収入	3,260,063
借入金等収入	367,703,180
前受金収入	2,419,000
その他の収入	950,285
内部資金収入	0
資金収入調整勘定	△ 187,429,000
前年度繰越支払資金	72,187,014
収入の部合計	769,179,813
支出の部	
人件費支出	155,511,452
経費支出	71,495,668
借入金等利息支出	4,413,748
借入金等返済支出	176,210,000
施設関係支出	287,148,639
設備関係支出	29,510,876
資産運用支出	0
その他の支出	24,740,722
内部資金支出	0
資金支出調整勘定	△ 30,055,752
次年度繰越支払資金	50,204,460
支出の部合計	769,179,813

【事業活動収支計算書】

科目	決算額
教育活動収支	
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	93,823,382
寄付金	859,155
経常費等補助金	190,452,196
付随事業収入	9,675,035
雑収入	3,260,063
教育活動収入計	298,069,831
事業活動支出の部	
人件費	155,511,452
教育研究経費	101,996,827
徴収不能額	178,800
教育活動支出計	257,687,079
教育活動収支差額	40,382,752
教育活動外収支	
事業活動収入の部	
受取利息・配当金収入	503
教育活動外収入計	503
事業活動支出の部	
借入金等利息	4,413,748
教育活動外支出計	4,413,748
教育活動外収支差額	△ 4,413,245
経常収支差額	35,969,507
特別収支	
事業活動収入の部	
その他の特別収入	215,279,000
特別収入計	215,279,000
事業活動支出の部	
資産処分差額	0
特別支出計	0
特別収支差額	215,279,000
基本金繰入前当年度収支差額	251,248,507
基本金組入額合計	△ 281,620,163
当年度収支差額	△ 30,371,656
前年度繰越収支差額	△ 283,182,371
翌年度繰越収支差額	△ 313,554,027

【貸借対照表】

科目	本年度末
資産の部	
固定資産	1,084,218,182
流動資産	235,264,816
資産の部合計	1,319,482,998
負債の部	
固定負債	444,752,162
流動負債	104,825,555
負債の部合計	549,577,717
純資産の部	
基本金	
第1号 基本金	1,066,459,308
第4号 基本金	17,000,000
基本金 計	1,083,459,308
繰越収支差額	△ 313,554,027
純資産の部 合計	769,905,281
負債及び純資産の部合計	1,319,482,998

【財産目録】

科目	金額
基本財産計	1,084,218,182
運用財産計	235,264,816
資産の部合計	1,319,482,998
固定負債計	444,752,162
流動負債計	104,825,555
負債の部合計	549,577,717
差引純資産	769,905,281

平成 29 年度の教育活動等に対する学校評価書

平成 30 年 6 月 20 日

学校法人補陀学園 若竹幼稚園長 山村伊津子

1 幼稚園の教育目標

「心の清らかな明るい子ども 健康でたくましい子ども 知性豊かでものごとに集中できる子ども 命の尊さがわかる子ども」

2 本年度の重点目標（学校評価の具体的な目標や計画）

「幼児の発達に即した指導の展開や援助のしかたの向上を図る。」

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

※評価点は、A（十分達成されている） B（達成されている）

C（取り組まれているが成果が十分でない） D（取り組みが不十分である）

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価点	幼稚園としての反省と改善策	評価点	意見
指導計画	子どもの姿やクラスの実態を正しくとらえる。	A	子どもの実態を把握し話し合いの時間を設けたので、子どもを捉えることができていた。	A	多くの園児の命を預かる中で、事故もなく運営できているのが良い。
指導計画	実態に即した学年・学級の指導計画をたてる。	B	子どもたちの発達に合わせて指導計画を立てることができ、その都度工夫していた。	A	こどもの実態を捉えられたことで、教育内容の充実が図られている。
保育内容	保育の中で、子どもの発達に即した指導をする。	B	前回の反省を生かして一人ひとりが意欲的に取り組めるような指導を行うことができた。	B	園内研修の充実が良い。話し合いを多くするなど、さらに頑張ってもらいたい。
指導計画	反省に基づき、学年・学級の指導計画を適切に修正する。	B	行事や活動の反省会で問題点を見つけ修正を行ったが、見直しを持って進めるべきであった。	A	全員での研修がむずかしいが、常勤でない先生の研修等の指導の工夫をしてもらいたい。
指導計画 教育課程	園全体の教育課程や指導計画の見直しをする。	B	今年度と来年度で大きく変わるため、まだまだ検討の余地がある。	B	これからの大きな変化の中、先生の数も増えて大変だが、頑張してほしい。

平成 29 年度 事業報告書

実施月	事業内容
4 月	お花見会 入園式 いちご狩り 父母の会総会 親子遠足(まかいの牧場)
5 月	歯科健診、内科健診、視力検査 個人面接(年少・新入園児) 運動会(蜂ヶ谷グラウンド) 園児家族他多数参加
6 月	動物教室(年長) 消防署見学(年長) さつまいも植え付け(年長) 英語教室参観会(年中年長) 歯科相談
7 月	七夕祭(笹飾りを飾る、年中年長で合奏・合唱)幼稚園体育館にて父母に発表 七夕参観会(年少、2歳) 花火教室 交通教室(年中年長) おとまり保育(年長) 若竹幼稚園にて
8 月	夏期保育(4日間) 小学6年生同窓会 キャリアアップ研修 夏祭り(年長さんのお店が開店)園児と家族・地域の方々が参加
9 月	交通教室(年少親子) 体育教室参観会 さんまの食育(年長) 粘土教室(県立美術館)
10 月	歯科検診 内科健診 個人面接(年中長) 遊木の森体験(年中) はごろも夢講演会「CASA プラスアンサンブル」 動物園遠足 レストランごっこ たけのこクラブ「年長さんと遊ぼう」 防災引き渡し訓練
11 月	さつまいも掘り(全園児)焼いもパーティー 駿河凧作り講習会 生活発表会おゆうぎ会(マリナート)全園児による劇や歌などの発表
12 月	生活発表会作品展(幼稚園)全園児の絵や造形などを発表 子ども美術の会作品展参加 もちつき 小学1年生同窓会
1 月	新春親子凧揚げ大会 郵便ごっこ(全園児でお手紙のやり取り) 卒園旅行(年長)「ぐりんぱ」でスケート教室 カルタ大会
2 月	豆まき(全園児) 静岡科学館るくる体験(年長) 小学校見学(年長) 父母参観会 一日入園 清水区幼児絵画展見学 おわかれ遠足(日本平アスレチック場)
3 月	ひな祭り 明治工場見学(年長) 父母参観会 卒園式(82名卒園)

【子育て支援】 未就園児親子体操教室(月1回程度) たけのこクラブ(月1回程度)
プレスクール「いちご組」 未就園児親子教室「おひさま教室」